



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“Reach Within to Embrace Humanity”

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

RI会長
カルヤン・パネルジー
2570地区ガバナー
立原 雅夫

Smart Rotaryを探して ~継続できるロータリークラブとは~ + ガンバレ! 日本のロータリークラブ

第 2495 例会 2012.6.13

—— ロータリー親睦活動月間 ——

天 候 曇 (NO.48-50)

会 長 吉 島 一 良 幹 事 間 邊 元 幸

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 吉澤君、森君

例会場: マロウドイン 飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 吉島会長
- ・ソング 我等のなりわい
- ・卓 話 石井道夫会員 馬場正春会員

【会長報告】

6/9・10の旅行には38名の参加。初日は雨でしたが2日目はほとんど降らず、角館の料亭でゆっくり出来ました。予算を若干上回りましたが無事終了、有難うございました。来年は5月頃、京都へという話です。50周年へ向けて多数の参加をお願いします。

【幹事報告】

- ・本年度反省会 & 懇親会 7/11 清河園 18時
- ・週報: 入間、越生毛呂RC

【委員会報告】

親睦活動委員会 中里(忠)君
旅行には沢山の方に参加して頂き、また、スムーズに動いて頂き、何事もなく、楽しく出来ました。ご協力有難うございました。
次年度幹事 島田君
11時より第1回役員会。予算、委員会構成、例会休日、7月プログラム、承認。7/18第2500例会は記念品等ご用意。7~10、5~6月はノーネクタイ。禁煙例会、例会運営は例年通り。

【出席報告】無断欠席なし 増島出席委員長

会 員 数		当 日		前々回修正 出 席 率
全 数	対 象	出席数	出席率	
54名	6名	50名	92.59%	88.89%

【M U】

6/2(ガバナー) 吉田(行)君
6/6(第3G) 安藤君、間邊君、島田君

【結婚・誕生日祝】 吉澤親睦活動委員

入会記念日おめでとう
新井君、藤原君、塩野君、中山君
会員誕生日おめでとう
2 馬場君、6 新井君、17 半田君
27 和泉君、29 大木君、3 森君
夫人誕生日おめでとう
3 安藤夫人、9 杉田夫人、20 矢島(高)夫人
28 前島夫人、30 吉田(健)夫人

【S A A 報告】

ニコニコBOX
・石井先生、御苦労様。お世話になります。山川君
・橋本会長の時、加藤義雄大先輩に薦められ入会しました。懐かしい思い出となりました。新井君
・誕生日のお祝い、有難うございます。
新井君、大木君、和泉君、馬場君
・入会記念、有難うございます。藤原君
・妻の誕生日祝い、有難うございます。安藤君
杉田君、矢島(高)君、前島君、吉田(健)君
・親睦旅行ではお世話になりました。吉島君、間邊君
・年のせいか不覚にも例会の日を間違ひ、結果的には無断欠席となり、申し訳ございません。加藤君
・皆様に写真を頂き、実際より良く写っていて有難うございました。細田(伴)君
・早退 土屋(良)君
本日計 39,500 円、累計額 1,141,625 円。
20日例会当番は安藤会員、新井会員です。

【バズセッション】

ロータリーとは

飯能RC プログラム委員会

石井道夫会員 馬場正春会員

石井委員 / 入会して30年位。最初は「ランチタイムメンバー」だったが、周りの人から話を聴いたり本を読んだりしてRCの知識を得た。RCは「大人の社会」。綱領にしても「こうやれ」等の押し付けが無く、本人任せ。一人一人を「大人」として扱っている。業界トップに細かい事を言う必要は無い。その代わりに「大人」の自覚を持たなくては行けない。RCの綱領(目的)は一生懸命仕事をして自分を高め、同時に、業務の品位を高め、世界の人達ともそれをやっていく事。RCの「奉仕」は「人のために何かをやる」という意味。そう思って活動して欲しい。

ポール・ハリスは北部、バーモント州の小さな村からシカゴに来了。祖父母に可愛がられ、村では良い少年時代を過ごした彼は大都市で「寂しかった」。同じような思いの人が沢山居るのではないかとRCを創った。それがRCの原点。楽しく和やかに、あまりルールに縛られず独特の例会をやれば良いのではないか。ハリスが一番「寂しかった」のは、弁護士仲間で散歩していた時、地元の弁護士は会う人ごとにファーストネーム、ニックネームで呼んでいた事。それが一番羨ましかったと言っている。米国には今もニックネームを名札に書くクラブがある。東京でも、宝塚を創めた小林氏は「ペラ」と呼ばれていた。古きを守る事も大事だが、時代に合ったクラブをつくる事も大事。原点である「友だち付き合い」に一度帰っても良い。今は瀟洒になり過ぎている気がしないでもない。例会は「知識を得る場」。昔は「テーブルマスター」みたいな人が居て話題提供したりディスカッションしたりした。人の意見が聴けて良かった。ご飯の時ももっと話し合い、知識を得る。是非そういう例会にして欲しい。

自分のいろいろな環境を整えないと仕事に打ち込めない。最近、私がよく言うのは「男の三惚れ」。女房に惚れる、仕事に惚れる、住んでる所に惚れる。それが人生なのではないか。最後の目的は充実した人生を送る事。リタイアしたら世の中という大きなフィールドに出て自分の持っている知識を若い人達に伝えて欲しい。「ものすごい財産」を無駄にせず、次のジェネレーションに教えて欲しい。今までそれを一生懸命やってくれなかったから若い人が育たなかったのではないか。リーダーが育っていない。一番の典型は政治。烏合の衆になっている。我々の務めは良きリーダーをつくる事。教育も「これが試験に出る」等、結果ばかりを目的にし、「人間をつくる教育」をしていない。「平等に平等に」で、一人が一寸出ると皆で足を引っ張る。沢山の人の中で凸凹があって良い。若い人達を育て、リーダーをつくって行かな



いと本当に目茶苦茶な世の中になってしまう。「自分の周りだけでも良くしようよ」と私は言っている。皆がそれをやれば輪が拡がり世の中も良くなる。まず「飯能」から。RCの人達が中心となって世の中へ出て、いろんな事を若い人達に授け若い人達を育てる。今、蹴飛ばしたりは多いが「育てる」という事を一つもしていない。是非そういう活動をして欲しい。

ボランティアは「やってやる」という心を持っては駄目。「(遊びに連れて行ってやる)」と思って行くと言動の端々に「やってやってる」という気持ちが表れ、それが「すごく辛い」とある身体障害者の人が言っていた。ボランティアは、自分のためにやらせて頂く、自分の満足しないところを補ってもらうためのもの。「診てやる」というのは不遜な医者。患者は医者に「先生、今、流行ってる風邪はこういう風邪だよ」と教えに来てくれている。それを「拝見させて頂く」。仕事も「やらせて頂く」。

慈恵医大の整形外科で骨関節結核の世界的権威・片山良亮先生はものすごく厳しい怖い先生だったが、汚い現場服を着た外来の患者に「そこへお休み下さい」と言って最敬礼して「ではこれから拝見させて頂きます」と診察を始められた。私は強烈な印象を受け、「医者というのはこうなんだ」と私も覚えた。その気持ちでやって欲しいと思う。



馬場委員 / 入会10年目。いろんな方と知り合え、勉強になるという事はRCだからこそ。他地域にも人の輪が出来る。石井先生の話聴き、私達50代がまちを背負っていくリーダーシップを持たなければいけない、もっと自分に喝を入れ、リーダーになれるような人間になれば良いのかな、と感じました。

市川(洋)プログラム委員長

本日のお話に対するご感想は折々にお聞かせ頂ければと思います。

1年間有難うございました。

平成24年7月のプログラム

月日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
7. 4	2,498	【四つのテスト】 クラブ協議会	藤原君 細田伴君 [会長・幹事]
7.11	2,499	【結婚・誕生日祝】 クラブ協議会	橋本君 平沼君 [会長・幹事]
7.18	2,500	クラブ協議会 《記念例会》	半田君 服部君 [会長・幹事]
7.25	2,501	卓話「注目集まる飯能岩場ほか」 埼玉県山岳連盟理事長天野賢一様	細田吉君 石井君 [プログラム]

次週の例会案内は省略。